

### (3)令和元年度 駒林小学校 「豊かな心の育成」推進プラン

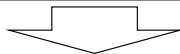
#### 中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

駒林の特色を生かし、「あいさつ」「音楽」「たてわり」を駒林3本柱とし、児童の心の育成にあたる。あいさつ実行委員会を中心と敷いた児童主体の取り組みや音楽集会での聴き合い、異学年交流のたてわり活動を通して、児童の自己肯定感や有用感を育てていく。子どもにとっても大人にとっても魅力ある学校づくりを目指していく。

#### 児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

本校の児童は、どの学年とも比較的落ち着いている。学年としてのまとまりもあり、概ね順調に学校生活を送っていると言える。しかし、各学年・学級に個々の課題はあり、個別支援的な対応が必要になっている。6年生が全校の中心として様々な場面で活躍できる環境が整い、全校の中心となるという自覚をもって活動している。ただ、自分の気持ちを十分伝えるコミュニケーション力や自己肯定感の低さに課題が見られる。また、あいさつの面に関しても児童の意識が低く、児童間や地域との関係をあいさつを手掛かりに育んでいきたい。

学力・学習状況調査からは、「家でお手伝いをしている」や「ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある」の項目で市の平均から大きく下



#### 「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・豊かな体験活動の推進する。体験活動と関連づけた道德教育の充実を図る。
- ・望ましい人間関係を築くコミュニケーション能力を育成する。様々な授業の中で、話す力や聞く力の基礎を養い、気持ちや考えを伝え合う能力を育てる。
- ・兄弟学級を中心とした縦割り活動を通して、高学年が責任をもって行動できる実践力や主体性、異学年同士の思いやりの心や協力する心を育てる。
- ・文化芸術活動の推進する。音楽活動を中心とした学校づくりを推進し、学校生活が明るく、楽しく、潤いのあるものとするように努める。
- ・あいさつ運動を推進する。「あいさつ実行委員会」を組織し、児童中心に企画運営を行う。



#### 指針1 豊かな体験活動の充実

- 異年齢集団活動の充実
  - ・縦割り集団活動、児童会活動、クラブ活動などの異年齢集団活動を、より自主的、意欲的に行うことができるようにします。
- 道德教育との関連の促進
  - ・学校の教育活動全体を通じて行う道德教育と、各学級の道德の時間との関連を図り、豊かな体験を生かして指導を行います。
- 係活動や当番活動の充実
  - ・係活動や当番活動に自習的に取り組むことができるように、自分たちで計画を立て運営できる力を育成します。

#### 指針2 コミュニケーション能力の育成

- 豊かな人間関係の育成
  - ・相互に認め合い、尊重・協力し合うなど、人間関係を円滑に保持し、開拓する能力を育成します。
- 多様な言語活動、表現の育成
  - ・発達段階に応じた「聞く・話す」の具体的なめあてを示し、学年に応じた適切な学び方を身に付けさせます。
- 読書活動の推進
  - ・読書活動を意欲的に取り入れ、豊かな知識の習得を図るようにします。

#### 指針3 思いやりの心や生命を大切にする教育の推進

- 人権教育の充実
  - ・人権尊重の精神を基盤として、子どもの自尊感情を育て、自分と他者の人権を大切にしようとする意識を高めます。
- 体験的参加型学習の推進
  - ・子ども達が体験や行動を通して学ぶ体験的参加型学習の手法を取り入れ、相手を思いやることの大切さや生命の尊さを実感できるようにします。

#### 指針4 文化芸術活動の推進

- 音楽活動の推進
  - ・教科音楽にとどまらず、日常的に音楽が満ち溢れ、子ども達にとって、明るく楽しく潤いのあるものとなるように努めます。
  - ・学級や学年、全校の友達と一緒に、生き生きと表現できたときの心のふれあいや一体感、より美しく表現できたときの感動や充実感などを一人ひとりが味わうことができるように取り組んでいきます。